6 本時について

- (1) 本時目標 荻窪用水の今後を推測することによって、人々の「昔の人が願って作ったものを大切に残したい。」という思いが受け継がれてきたことに気づく。
- (2) 本時展開

学 習 活 動 と 予 想 さ れ る 子 ども の 思 考	主 な 支 援 ・ 留 意 点 【 評 価 】
	<p>○前時までの自分の考えを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば、座席表を配布したり、近くの友だちと考えを交流したりする時間をとる。また、子どもたちから「情報交換したい」「考えを整理したい」と出れば、その時間にする。 <p>○話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・途中で考えを変えてもよいことを伝える。 ・昔のこと、現在のことを根拠として推測したことがわかるよう、板書する。 ・言葉の意味で子どもが混乱しないよう、「ある」「残す」「壊す」「壊れる」などが、人為的かどうかについては問わない。 ・関東大震災で壊れた経緯から、地震が起きるから壊れると考えている子がいるが、壊れたとしてその後どうするのか問題なので、深く扱わないようにする。 ・「受け継いできたものは何か。」「忘れられたらなくなるのか。」については焦点化し全体に問い返すことによって、目に見えないものについて考えられるようにする。 <p>○みんなの考えを振り返り、自分の考えを振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板書を見ながら、話し合ったことを静かに振り返るようにする。 <p>◇自分の考えを発表しようとしている。【関心意欲態度】</p> <p>◇先人の思いと現在の人の思いや状況を関連付けて考え、適切に表現しようとしているか。【思考表現】</p>

○子どもたちは、「くわしく知りたい」「疑問を解決したい」との願いで、学習を進めてきています。調べる活動も意欲的で、調べて満足するのではなく、次々と新しい疑問が生まれ、その問題にも一人ひとりが真剣に向き合い追究してきました。先人の苦勞やただし、これまでの実態通り、表面的な部分にのみ目が向いている子が多いのも事実ですが、一方で、学習が始まってからずっと、「昔と今のつながり」「大切にしたいという思い」について考え続けている子も数名います。前々時「管理」に目が向いていた子どもが多かったです。4年生には難しい目に見えない「気持ちを受け継ぐ」ということを、これまで学習してきたことや経験を生かして考えられるよう問題の焦点化をしていきたいと思ひます。